



かるがも便い

秋季

97号

1月・4月・7月・10月の年4回発行

石神井まちづくりの会 代表 兼 編集者：下河秀行

デザイン・構成：西森由紀子

今号の
記事内容

1面：再開発計画見直しの訴えを退ける 東京地裁 5面：SDGsに取り組むシリーズ⑬ 上石神井中学校
 2面：知られざる練馬の歴史シリーズ⑩ 葛城明彦氏 6面：練馬に縁(ゆかり)がある文人シリーズ その②
 3面：美術館シリーズ【観蔵院 曼荼羅美術館展示会】 7面：練馬区内のサークル紹介 その⑤ NPO【元気力発電所】
 4面：石神井公園の野鳥と自然の会 提供ガイド記事 8面：練馬の77年を振り返る、【歴史と文化講座】練馬美術館

～ 再開発計画見直しの訴えを退ける 東京地裁 ～

2024年7月29日 東京都ホームページ から

東京練馬区の石神井公園駅周辺で進められている再開発事業には景観上の問題があるなどとして、一部の地権者などが東京都に対して計画の見直しを求めた裁判で、東京地方裁判所は「区の景観基準に違反していない」などとして訴えを退けました。練馬区の西武池袋線 石神井公園駅周辺では、高さ100メートルのビルなどを建設する再開発事業が進められています。一部の地権者や周辺住民は「区の景観基準に違反し、違法な手続きだ」などとして、事業を進める組合の設立を求めた東京都に対し見直しを求める訴えを起こし東京都側は「適正な手続きだった」などと争っていました。

7月29日の判決で東京地方裁判所の品田幸男裁判長は、石神井公園駅の周辺に高さ100メートル程度のマンションが2棟建っていることから「再開発事業で建設されるビルが突出した高さだとは言えず、区の景観基準に違反していない」と指摘しました。また、区が住民への説明会を開き、区議会の議決なども経て事業を進めていることなどから「手続きは適法だ」として訴えを退けました。

この裁判をめぐることはことし3月、組合が裁判中に進めていた土地の明け渡しについて、原告となっている地権者の申し立てに基づき、東京地裁が一時的に停止する決定をしました。決定は高裁で取り消されましたが組合と地権者は対象地を10月まで明け渡しをしないことで合意しています。

原告の地権者は、とてもがっかり

失うものが大きい

判決について原告となっている地権者のIさんは「裁判所は、これまで私たちの訴えを受け止め、土地の明け渡しを一時停止する決定を出してくれたと思っていたが判決にはとてもがっかりした。90年間守ってきた土

地も建物も奪われ、失うものも大きい」と話していました。

代理人の弁護士は「再開発を進める中で建物の高さを50mまでとする制限が変更され100mを超えるものも認められた。再開発を進めるためには、高さの制限を変えていいと言っているのに「等しい判決だ」と述べました。

原告は、この判決を不服として控訴予定。



▲解体工事が進んでいる現場



▲石神井公園南口再開発ビル計画

再開発組合は、地権者に配慮し事業進める

東京都は、「土地の明け渡しについては係争中のため、コメントは差し控える」としています。事業を進める再開発組合は「引き続き地権者に配慮しながら事業を進める」とコメントしています。

❖出展：東京都ホームページ、及び 石神井公園駅南口西地区再開発組合説明会資料による。

『編集部から』この裁判は地域住民にとって大きな関心事で、私たちは計画当初補助幹線道路132号が完成し、石神井商店街内にバスが通らなくなり、錯綜していた交通混雑が解消された今、このような大きな道路が必要かと強く反対してきたが、都市計画補助幹線道路232号線上にある地権者の建築制限と、まちの活性化を考えると計画は進めるしかないと思う。(下河秀行)

【知られざる練馬の歴史シリーズ⑱】 謎の巨大集落跡「貫井二丁目遺跡」

「貫井二丁目遺跡」は、区立貫井中学校の西側付近で確認された、先土器時代～中・近世まで（奈良～平安期中心）の複合遺跡である。付近では1982～1983（昭和57～58）年の貫井二丁目団地建て替えの際発掘調査が行われ、縄文期住居址7軒、弥生期住居址6軒、奈良～平安期住居址18軒、近世墓坑群等などが発見された。また、遺跡からは須恵器の転用硯・墨書土器・落合型土器・鉄器・人骨（近世墓地跡）・牛骨（祭祀の跡？）などの遺物が出土している。中でも注目されたのは、役所高官が使用したと思われる「金銅製飾具」（帯止めまたは馬具飾り）で、これは区登録文化財の指定を受け、現在「石神井公園ふるさと文化館」常設展示室で展示されている。



▲遺跡から出土した金銅製飾具
（石神井公園ふるさと文化館所蔵）

遺跡内では、土師器生産の跡も発見されており、これらの事実から近年では極めて特殊な性格を持った集落跡とも考えられるようになった。

位置的には、貫井川や貫井池（貫井中学校南側に存在していた湧水池）を見下ろす台地上にあって、1918（大正7）年に編纂された『東京府豊島郡誌』にも「此辺古跡あるにや土器石器の発掘されるもの多し」との記述が残されている。

実は遺跡はこの場所のみではなく、貫井中学校・区立ガラクタ公園・貫井南公園・練馬第二小学校などを含むひと続きの台地すべてがそれに該当しており、1975（昭和50）年頃までは、至る所で奈良期の須恵器・土師器・土錘（素焼きの網のおもり）などの表土散布がみられたのである。貫井中学校でも

校庭や校舎建て替え工事の際には大量の遺物が発見され、以前には校内で展示も行われていた（筆者も当時、付近では膨大な数の遺物を採集している）。

おそらくは百軒を遥かに超える巨大集落が存在していたとみられ、そのことから近年では「郡衙（地方役所）の支所などが設けられていたのではないか」との推測をしている史家も少なくない。「落合式土器」も、新宿区の落合遺跡ほか武蔵国府（府中市）や豊島郡衙（北区上中里）跡等で出土している、限られた地域のみで使用されていた土器であり、そのため各所との交流が行われていた可能性は非常に高いと考えられているのである。

なお、『続日本紀』768（神護景雲2）年の項に記されている、奈良期の宿駅「乗瀧駅（「練馬」地名の由来とする説もある）」の所在地は現在不明となっており、「練馬区『谷戸』（現・練馬4丁目）説」と、「杉並区『天沼』説」にほぼ分かれているが、この発掘が行われて以降は「貫井二丁目遺跡説」とする説も一部で唱えられるようになった。方角・距離的にはやや不自然ではあるが、谷戸や天沼から大規模な奈



▲貫井二丁目遺跡に建つ解説板

良期の遺跡が発見されていないことを考えれば、これも決して否定し切れるものではないようである。

現在、遺跡は大部分が宅地化されているため、残念ながら全体像は未だ不明のままとなっている。ロマンに満ちた、古代の謎の数々が解明される日は果たして訪れるのであろうか。文・写真：葛城明彦（郷土史家）

パクロード 石神井



石神井公園商店街振興組合



※詳しくはQRコードをスキャン

観蔵院 第30回 仏画・悉曇・截金特別展 百花繚乱 ～曼荼羅の世界～ 色・形・素材の共演

- ◎期 間：2024年11月2日(土)～4日(月)
◎場 所：観蔵院曼荼羅美術館-本堂-客殿
◎拝観時間：10時～16時
(入館は閉館の30分前まで)
◎拝観無料

◆ ご挨拶 ◆

今回の特別展では、様々な制作方法で描かれた曼荼羅が展示されます。彩色曼荼羅・白描図曼荼羅・紺紙金銀泥曼荼羅・綴織曼荼羅・種子曼荼羅など、表現方法を異にした曼荼羅を見ることができます。これらの曼荼羅を一度に見ることは滅多にありません。どうぞそれぞれの個性を味わってください。

観蔵院 長老・小峰彌彦

<特別企画>

- ① 声明公演「萬燈会」：真言法響会
11月3日(日) 午後5時 本堂・境内
拝観無料
- ② 一閑張り教室：日本伝統工芸の世界



▲「天平の輝華」 山中美保子作

<特別展協力>

- 染川 英 輔 主宰：観蔵院仏画教室・恵比寿読売カルチャーセンター
小峰 智 行 主宰：観蔵院悉曇研究会
腰塚 勝 也 主宰：大正大学オープンカレッジ・遍照院仏画教室
西川みづ子 主宰：観蔵院截金教室・錦糸町読売カルチャーセンター
金丸真理子 主宰：NHK文化センター青山教室・三越カルチャーサロン
新井 光 章 主宰：大森・川崎・北千住読売カルチャーセンター
小峰 和 子 主宰：寶蓮寺仏画教室
新垣 幸 恵 主宰：観蔵院一閑張り教室・荻窪読売カルチャーセンター

慈雲山曼荼羅寺観蔵院併設

曼荼羅美術館

〒177-0035 東京都練馬区南田中4丁目15-24

TEL: 03-3996-6858 FAX: 03-3996-6878

<https://kanzouin.wixsite.com/mandala>

安心・安全をサービスにおもてなし

石神井公園

旧西友通り

また行ってみたい商店街へ

石神井町二丁目通り商店会

全26基、LED街路灯に建て替え更に街が明るくなりました。

石神井町
二丁目通り商店会



秋のみどころ

石神井公園野鳥と自然の会の提供～【石神井公園 NOW】～

石神井公園の生き物たちは来るべき冬、やがて来る春に、命をつなぐ準備をします。

○植物

秋、三宝寺池側、水辺観察園のツリフネソウがピンクの花を咲かせ、ハナバチが吸蜜にやって来ます。紫色のカリガネソウの花も、虫たちの良い蜜源となり、ゲンノショウコ、ナンバンギセル、ホトギス、ヌスビトハギ、ヒガンバナも咲きみだれます。三宝寺池西の端、野鳥誘致林を横切り、民家の先の公園の最西端には「ツルボとユウガギクの花園」が見られます。去年とは違ったユウガギクとのコラボを見られそう。



ツルボとユウガギクの花園

秋も深まると、タデ科のサクラタデやミゾソバ、キク科のカントウヨメナ、シロヨメナなど野菊が自然に咲いています。フジバカマも広がってきたので見事でしょう。ススキ・オギの白い穂も見逃せません。晩秋、カツラ、ラクウショウ、メタセコイヤなどの黄葉、さらにイロハモミジ、ナンキンハゼなどの紅葉が進み、秋の深まりを感じさせます。落ち葉やドングリを手に取り、その色や形から、何の木か調べるのも楽しいです。

○野鳥

厳しい残暑も和らぎ、涼しくなってゆくこの頃、鳥たちにも少しずつ変化が訪れます。

9～10月にかけてはサンコウチョウ、サンショウクイ(9月に公開される鳥類目録 第8版からリュウキュウサンショウクイ、サンショウクイは別種となることもお忘れなく)、ヒタキ類といった渡り鳥、さらにはシギの仲間といった思いがけない鳥達との出会いがあるのもこの頃です。残念ながら、これら

は、1、2日で会えるものではなく、通い詰めてみて会えるかどうか・・・という程度。



ジョウビタキ(雌)



リュウキュウサンショウクイ



エゾビタキ

台風到来等、天候がくずれる日も多いシーズンですが、無理せず可能な範囲で観察してみてください。

10～11月にはセミの鳴き声が止むと共にいよいよ冬鳥たちが戻ってきます。カモの仲間に加えモズ、ジョウビタキ、ウグイス、ツグミ、シロハラ、アオジ、シメ・・・

○昆虫

秋の気配を感じる頃になると、赤トンボがたくさん見られるようになります。初夏に平地で羽化し涼しい山へ移動していたアキアカネが秋の里へと降りてきます。ここ数年みられない白粉で化粧したマイコアカネ、黒い眉斑のあるマユタテアカネ、翅の先端が褐色斑のノノシメトンボ、ノシメトンボ、リスアカネなどは胸の模様で確かめましょう。蝶では日本列島を旅するアサギマダラが立ち寄って水辺観察園でフジバカマの蜜を吸い、キジョランの葉に卵を産んでくれればと期待しています。イチモンジセセリ、ウラナミシジミが多く見られるようになり、秋も深くなると成虫越冬する蝶以外は姿が見られなくなります。



フジバカマにアサギマダラ



マイコアカネ



コバネイナゴ

秋に鳴く虫のカネタタキやキンヒバリ、コオロギたちは夕暮れから聞かれます。秋は昆虫たちにとって寒い冬を乗り越えて子孫を残すための求愛行動、交尾、産卵と大忙しです。

● 診療科目 ●

- | | |
|-----|---------|
| ● 内 | 科 |
| ● 糖 | 尿 病 内 科 |
| ● リ | ウ マ チ 科 |
| ● 胃 | 腸 内 科 |
| ● 循 | 環 器 内 科 |

菅原 医院

www.sugawara.or.jp

☎ 3996-3016

● 診療時間 ●

- | | |
|--------------|--------------|
| ● 平 日 | ● 土 曜 |
| 午前9:00～12:30 | 午前9:00～12:00 |
| 午後3:30～ 7:00 | 休診日:水曜/日曜/祝日 |





2015年国連採択されたSDGsとは何をめざすのか?を考えてみることにした。目標は、大きく分けて17項目に分かれている。

石神井地域で取り組む【SDGsシリーズ】④について考えてみることにした。

【SDGs】④は、質の高い教育をみんなに…すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。今回は、上石神井中学校を訪問し、校長 平野 茂 氏にインタビューした。

【目標は、大きく分けて17項目に分かれている】

Q1. 上石神井中学校が目指す教育理念は

A. 本校は昭和34年に開校し、今年66年目を迎えた歴史と伝統のある学校です。60周年の際「探究 誠実 協働 健康 共生」という「校訓」を掲げました。また、生徒には「何事も常に本気で取り組む上中生～本気になれる生徒、本気を支える生徒の姿」をスローガンとして、不透明な社会情勢の中にあっても、誇りと自覚をもって伝統を引き継ぎ、学校生活を充実させようと話しています。学習面では、個々の生徒用タブレット端末を活用した個別学習や協働学習、ICT機器を積極的に用いた授業の展開、ユニバーサルデザインを取り入れた教室環境の整備を推進するとともに、文部科学省「地域未来塾」事業を活用した放課後の補充教室を充実させ、学力向上を図っています。生活面では、「あいさつ・時間・身だしなみ・言葉遣い・姿勢」を重視するために「あじみこし学校」という合い言葉が伝統として引き継がれ、「おはようございます」の朝のあいさつやチャイム着席などに取り組んでいます。そして、進路指導では、職場体験とともに生徒が小中連携で上石神井小学校の児童に対してリトルティーチャーとなって教師体験をしています。こうした活動をとらえて職業やボランティアについても広く考え、進路選択に結び付けています。

Q2. 上石神井中学校の目指す学校像は

A. 目指す学校像として次の4点を掲げています。

- 生徒一人一人が自らのよさや可能性を認識し、意欲的、創造的に活動する学校
- 生涯学習の視点に立ち、生徒の関心・意欲を高め、生涯にわたって学び続けるために必要な知識や、学び方等を身に付けられる授業が充実している学校
- 生徒指導上の課題等に迅速に対応し、教育活動の改善・充実に一致協力して取り組む、組織的な学校
- 家庭や地域社会との相互理解や連携・協力体制を築き、学校の役割を積極的に果たして家庭や地域からの信託に応える、開かれた学校

Q3. 当校のSDGSにつき、取り組みについて

A. SDGsには17の目標と169の指標があります。学校における活動すべてがSDGsの取組に関わってくるものと思っています。特に令和6年度は長崎への修学旅行を実施し、「16 平和と公正をすべての人に」について改めて考えました。



校章の由来

練馬大根の葉三枚をアレンジして、『誠実』、『明朗』、『健康』を表したものです。昭和34年4月8日に制定です。



K's TRUST

石神井公園駅そばにある創業54年、総合保険代理店です。皆様が安心して生活できるよう保険でサポートいたします。

株式会社 K's TRUST

〒177-0041 練馬区石神井町 3-25-8

橋本ビル 2 階

FAX 03-5923-7776

e-mail info@ks-trust.net

《取扱保険会社》

三井住友海上火災保険株式会社・東京海上日動火災保険株式会社・三井住友海上あいおい生命保険株式会社・東京海上日動あんしん生命保険株式会社・ジブラルタ生命保険株式会社



～練馬区 縁(ゆかり)のある漫画家たち～ 紹介シリーズ②

練馬区立石神井公園ふるさと文化館では、令和6(2024)年1月から分室にて練馬区ゆかりの漫画家の紹介をしています。漫画「JIN」の作者である村上もとか館長をはじめ、練馬区内にはたくさんの漫画家が住んでいらっしゃいます。3ヶ月ごとに2人の漫画家を紹介し、原画や漫画本などを展示しています。本誌では、ふるさと文化館分室で作品展示を行った漫画家を紹介しています。



青木 朋

平成6(1994)年、小学館新人コミック大賞に「意中の人」が入選しデビュー。青年誌にて「机上の九龍」(原作：長崎尚志)、「幫間探偵しゃろく」(原作：上季一郎)、「月は囁く」(原作：宮崎克)、「土砂どめ奉行ものがたり」、『ミステリーボニータ』(秋田書店)にて「八卦の空」「龍陽君始末記」「三国志ジョーカー」「天空の玉座」を発表。令和2(2020)年から「天上恋歌～金の皇女と火の薬師～」を連載中。歴史、ミステリー、ファンタジーなどの要素が融合した漫画を得意とする。

左：原画「天空の玉座」(42話 3ページ)
平成30(2018)年
右：原画「天上恋歌～金の皇女と火の薬師～」(1巻 表紙)
令和2(2020)年



本庄 敬

北海道寿都出身。石川サブロウのアシスタントを経て、昭和61(1986)年「北へー君への道一」(『週刊少年ジャンプ増刊号』掲載)で手塚賞準入選となりデビュー。自然・動物・料理モノを中心に活動をしている。代表作に「SEED」(原作：ラディック鯨井)、「蒼太の包丁」(原作：末田雄一郎)、「ニッポン動物記」「NOAH's ARK」などがある。

左：原画「蒼太の包丁」平成25(2013)年
右：原画「旭山動物園物語 ふれあい総集編」平成22(2010)年

10月～12月は、黒丸先生と近藤たかし先生の作品を展示する予定です。ぜひご来場ください。



感謝のセレモニー マキノ祭典

ご葬儀に関する事なら何でもご相談ください

24時間
安心ダイヤル

フリーダイヤル



ヨイ セレモニー

0120-41-7062

■ 本社：練馬区上石神井4-9-24 TEL:03-3929-1040

マキノ祭典

検索

■ サロン：東大泉店・大泉学園町店・石神井公園駅前店・大泉学園駅前店・中野駅前店

～ 練馬区のサークル紹介 ～ その⑤

練馬で活発な活動をする

【NPO 元気力発電所】

今回は、石神井町1丁目で活動する「元気力発電所」を訪問して、紹介することにした。

自然エネルギーの普及と省エネルギー啓発、資源の有効活用をめざし、2001年に活動をスタートさせました。(現在のNPO設立は2014年です。)

① リユース事業

環境ステーションとして石神井と練馬でリユース事業を行っています。各ステーションでは地域の方から寄付していただいた物品をリユースしていただき、その収益を積み立てて市民発電所設置費用としています。また、毎月11日を「支援の日」としてその日のリユース収入の30%を「福島子ども保養プロジェクト@練馬」に寄付しています。

② 市民発電所の設置

市民発電所とは市民や地域が中心となって作る発電所です。これまでに練馬区内の学校や幼稚園など公共性の高い施設の屋根に太陽光発電による市民発電所を11カ所設置しました。石神井地域では石神井町6丁目の清心幼稚園に設置しています。2021年からはベランダなどで発電できるミニパネルとポータブル電源(蓄電池)を組み合わせた「ミニ市民発電所」を福祉団体、商店会などに寄贈し6か所で稼働しています。

ソーラークッカーの実演とワークショップ

災害時にも活用できます。ガスや電気を使わないので太陽光を利用して調理ができるソーラークッカーの実演や紙で小型のソーラークッカーを作るワークショップを行っています。



③ 今後予定されているイベント

「練馬つながるフェスタin大泉」

9月29日(日) 13時～15時 勤労福祉会館。

ソーラークッカー作りのワークショップをします。

また、10月20日(日)の「練馬まつり」、11月23日(土)の「消費生活展ねりま」(ピアレス)にも出展を予定しています。

お気に入り大切に使われていたものがゴミにならず次の方につながれて行き、元気が出るものになっていきます。探していたものやお気に入りが見つかるかも。お近くの元気力発電所にぜひ足をお運びください。寄付品の提供もお願いします。



練馬区石神井町 2-2-20 TEL&FAX 03-3557-6044



【練馬ジャズ教室発表会】開催 11月8日(金)午後1時開演 ◎中野区野方 WIZ ホール
「えーる会場」と「生涯学習センター会場」で教室開講中..お気軽にご参加を

◎と ころ: 練馬区立 男女共同参画センター えーる 2階 視聴覚室

◎と き: 原則として、毎月第1・3月曜日 午前10時15分～11時45分

◎と ころ: 練馬区立生涯学習センター 2階 第1・3教室

◎と き: 原則として、毎月第1・3土曜日 午前10時15分～11時45分

◎講師: 矢作木の実(ジャズ歌手&ピアニスト) ◎入会金: 4,000円 ◎会費: 5,000円

練馬ジャズを楽しむ会 ご希望は 080-6607-4321 & e-mail h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp



地元を知るエッセー 【練馬区の77年を振り返る】 シリーズ特集 ①

昭和16年12月8日、日本は真珠湾を攻撃して第二次世界大戦が始まり、マレー沖海戦があり、17年にはミッドウェー海戦、南太平洋カダルカナル島をめぐる戦いがあり激戦期を迎える。

19年にはマリアナ沖海戦、20年4月にば東京大空襲があり10万人余りの死者を出している。

8月6日には、広島に原子爆弾が投下され、9日には長崎に投下され15日終戦を迎えた。私が国民尋常小学校4年生で炎天下が続く真夏に毎日の如くB29が飛来していたことを思い出す。

戦後間もない昭和22年、東京都はそれまで35区

あったものを22区整理統合(板橋区は最大の面積)した。この年の8月1日、練馬区は住民や有力者の要望で東京都23番目の区として板橋区から独立した。戦後の混乱の時代で物は不足し、国民の生活は非常に貧しく困難な時代であった。米国連合軍は、成増飛行場跡地をグランドハイツ(現 光が丘公園)と改称し、米軍家族宿舎として建設に着手した。当時練馬区の人口は125,000人(現在745,000人余り)であった。その後、昭和24年1月練馬区役所は、現在地に移る。

このシリーズは、次号へ続きます。(下河秀行)

～超満員だった ねりまシニアライフ講座 【石神井城とその落城】～



▲好評の【ねりまシニアライフ講座】

初夏の爽やかな季節に石神井庁舎会議室で令和6年6月23日(日)NSN 楽友会主催第2回【歴史と文化講座】が95名の参加者を迎えて開かれた。テーマは【石神井城とその落城】という興味ある講



▲練馬のシニアが沢山参加されて盛会

師の郷土史家の葛城明彦講師の行列が出来る講座で約2時間に及ぶ講演会が大盛況であった。ご承知のように太田道灌は江戸、川越、岩城などの城主で1477年豊島一族と太田道灌の戦いで石神井城や練馬城は落城している。この歴史講座の参加者は熱心にメモをしながら聞き入っていた。

～期待される『練馬美術館と貫井図書館』の融合は成功するか～

初秋の9月15日、まだ30数度を超える猛暑の中だったが、練馬美術館で、平田晃久～人間の波打ちぎわ～が締切日を控えていたので、急遽鑑賞した。

日頃は中高年の参観者が多い美術館だが、今回私以外は何か若い人ばかりであった。これは来年11月から着工される”新しい練馬美術館”が、同展の平田晃久建築設計事務所によって設計されることから市民の関心が強かったと考えられる。

作品の多くは建築家らしく建築作品が多く、日本の

みならず、世界での作品が展示されていた。

建築とは「<からまりしろ>をつくることである」をコンセプトに平田氏の建築に一貫している。

建築費予算の高騰で議論を呼んでいるが、練馬にもこんな美術館と図書館の融合が出来たと誇れる建物を創ってもらいたい。(H.S)



▲新しく出来る練馬美術館

Shimizu Dental Clinic
 シミズ デンタル クリニック
 歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科
 練馬区 石神井町 3-17-15 KYビル1階
 石神井パークロード商店街 銀座通り
 診療時間 9:00～18:00 月曜～土曜
 お昼休み 13:00～14:00
 日曜 祝祭日 年末年始 休診
 03-6913-3517
<https://firstmolar.jp/>

～お知らせ～
 当院では、**歯科訪問診療**を行っています
 クリーニングから、入れ歯の製作・調整、虫歯・歯周病まで
 ご家庭や施設など限られた環境でも
 経験豊富で心優しい訪問診療の専門医がしっかり対応
 みなさまの「食べる、笑う、話す」をサポートします
 どんなお悩みにも温かく対応します お気軽にお問い合わせください


 院長 清水 雄一郎

石 神 井
 まちづくりの会

ご意見等は、☎&FAX、又は左下のe-mailへ送信してください。
 TEL&FAX 03-5393-7381 携帯 080-6607-4321

【かるがも便り】は、区民交流センター・石神井庁舎・え〜る・練馬区内12の図書館・ふるさと文化館・勤福会館等にあります。